

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		家庭福祉相談室 らるご		公表日		2025年2月	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	66.7%	33.3%	・部屋のレイアウトを最適化して対応している	・学習の部屋が狭くなってきている（子供の人数増、成長）	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	83.3%	16.7%	・職員の特性や相性を活かした配置をしている。	・国の配置基準に従い、人数的にはぎりぎりなんとかやっけてはいる。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	83.3%	16.7%	・子どもの発達段階に応じた掲示をしている。	・子どもの年齢幅が広く、多岐に渡る対応が必要。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	83.3%	0.0%	・レイアウトの工夫等でも対応している。	・中高生の多いグループでは手狭になることもある	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	83.3%	16.7%	・館内の施設や部屋を活用。	・他機関の利用により別の場所が使えないことがある。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	100.0%	0.0%	・会議等を定期的に行い、改善に努めている。	・業務改善に関する話し合いはするが、改善できる所と なかなか 合意に至らないところもある	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100.0%	0.0%	・実施している。	・建物の一テナントとしてできないこともある。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100.0%	0.0%	・努力している	・各職員とも多忙であり、改善策実施まで手が回らないことがある。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	50.0%	33.3%	・後援会等の外部経験者の意見を得る機会も設けた。	・実施に至るのが難しいものがある。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	66.7%	33.3%	・得られた研修情報は随時掲示している。	・オンライン等研修は受けている。研修会は開催していない ・推奨はしているが、業務多忙のため時間は確保しにくい ・実質オンライン研修しか受けられないが、その機会が減っている ・業務整理日等を利用して、研修を受けられる機会を作る	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	83.3%	0.0%	・HPでの公開を行っている。	・今年度中に公開します。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	100.0%	0.0%	・		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100.0%	0.0%	・個別支援計画作成は、他職員の意見や視点も取り入れた多角的なものの作成を目指している。	・長期休み利用のみの子どもの場合、得られる情報が少なく、個別支援計画時の検討が難しい時がある。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100.0%	0.0%	・子どものファイルにもコピーを残し、職員がいつでも情報共有できるようにしている	・職員によっては、出勤日の関係もあり、関りの薄い子どももいる	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	83.3%	16.7%	・発達検査等の標準的な指針を参照している。	・子どもの特性やニーズが多岐にわたり、対応の難しい時もある。	

適切な支援の提供	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100.0%	0.0%	・実施している。	・長期休み利用のみの子どもの場合、得られる情報が少なく、前領域をカバーするのが難しい時もある。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	83.3%	16.7%	・実施している。	・立案はリーダーが行い、プログラム前にスタッフ間で調整している
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100.0%	0.0%	・子どものニーズや季節に応じた活動を行っている。	・立地場所の再開発等できないものもあった。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	100.0%	0.0%	・双方を満たしたサービスを目指している。	・学年が上がると到着時刻が遅くなり、計画したものが実施できないこともある。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100.0%	0.0%	・毎日行っている。	・業務が多く、時間の確保に苦慮している。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	100.0%	0.0%	・毎日行っている。	・業務が多く、時間の確保に苦慮している。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100.0%	0.0%	・実施している。	・業務が多く、時間の確保に苦慮している。
	23	定期的モニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	83.3%	0.0%	・実施している。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	83.3%	0.0%	・実施している。	・学年が上がると到着時刻が遅くなり、計画したものが実施できないこともある。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	100.0%	0.0%	・子どもたち自身が決定、立案できる環境になるように努めている。	・支援内容が多岐に渡り、自己決定、決定に至るプロセスに時間を割くのが難しい時もある。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100.0%	0.0%	・スタッフの得意不得意や相性を活かした者の配置を行っている。	・業務過多でできないこともある。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	66.7%	16.7%	・児童会館や外部講師の活用等を行っている。	・もっと活用できる場を広げたい。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	66.7%	33.3%	・保護者からの聞きとり、学校の出来事等、報告を受けている ・送迎サービスを行っていない	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	100.0%	0.0%	・特に隣接する児童発達部門との情報級は充実している。	・特になし
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	50.0%	16.7%	・今年、対象者なし	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	33.3%	50.0%		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	66.7%	33.3%	・児童館の利用を定期的に行っている。	・利用する児童館の数を増やせると良い。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	33.3%	33.3%		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	100.0%	0.0%	・引継ぎ時に重点的に行っている。	更に必要な場合、面談へと繋げている。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	50.0%	33.3%		

保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100.0%	0.0%		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100.0%	0.0%		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	100.0%	0.0%		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100.0%	0.0%		
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	66.7%	33.3%		
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100.0%	0.0%		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	100.0%	0.0%	・毎月、通信を発行している	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100.0%	0.0%		
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100.0%	0.0%		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0.0%	83.3%		
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100.0%	0.0%		
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100.0%	0.0%		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100.0%	0.0%		
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	66.7%	16.7%	・保護者と情報共有している	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	83.3%	0.0%		
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	83.3%	0.0%		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100.0%	0.0%		
53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100.0%	0.0%			

54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	66.7%	16.7%		
----	--	-------	-------	--	--